

尖閣周辺海域における日中両国の法執行船による不測事態の回避のための具体的方策について、北京大学、中国南海研究院の専門家らと共に、記者会見を1月27(月)に開催致します。

## 「日中海上航行安全対話」 記者会見の開催

【開催日時】	1月27日(月) 14時00分～15時00分
【報道受付】	13時00分～
【会場】	日本財団ビル2階 会議室1～4 (東京都港区赤坂1-2-2)
【言語】	日本語、中国語 (逐次通訳)
【参加者】	呉士存 中国南海研究院 院長
(五十音順)	朱鋒 北京大学国際関係学院 教授
	中谷和弘 東京大学大学院法学政治学研究科 教授
	羽生次郎 公益財団法人笹川平和財団 会長

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、公益財団法人笹川平和財団(東京都港区 会長:羽生次郎)は、「日中海上航行安全対話」に関する記者会見を、1月27日(月)に、日本財団ビルにて開催いたします。本プロジェクトは、尖閣周辺海域をめぐる日中間の緊迫した情勢に鑑み、同海域における法執行船による不測事態を回避するための方策について検討するためのものです。

これまで、両国それぞれで専門家による検討会議を積み重ね、2013年8月19日には東京で日中両国の専門家による第1回合同検討会を行いました。また、10月20日には北京で第2回合同検討会を行いました。これらの会合では、国際戦略を研究している北京大学国際関係学院、中国の海洋戦略の専門機関である中国南海研究院、その他の研究機関等から、船舶の航行や国際法、海洋法及び安全保障分野の有識者をお招きし、民間レベルでの対話を行うことで、当該海域における日中両国の法執行船及び乗員の安全性の向上に資する具体的な方策を模索し、両国政府はじめ、関係者に提出する提案書の内容について意見交換を行いました。そして、来る1月26日に東京で3回目の会合を行う予定です。

27日の記者会見では、上記会合の経緯や26日の日中合同検討会で議論された内容などについて、当該プロジェクトのメンバーからご説明させて頂く予定です。ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上、ご来場いただきますようお願い申し上げます。

敬具

議事次第: ○研究会の説明  
○質疑応答

お問い合わせ先:



公益財団法人笹川平和財団 事業部 広報担当(中原)  
電話/FAX: 03-6229-5462/ FAX -5473

メール: [spfpr@spf.or.jp](mailto:spfpr@spf.or.jp)

FAX 03-6229-5473

誠に恐れ入りますが、会場準備の都合上、1月27日(月)10時30分までに  
下記項目にご記入の上、ご返信いただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 「日中海上航行安全対話」 記者会見の開催

【開催日時】	1月27日(月) 14時00分～15時00分	
【報道受付】	13時00分～	
【会場】	日本財団ビル2階 会議室1～4 (東京都港区赤坂1-2-2)	
【言語】	日本語、中国語 (逐次通訳)	
【参加者】	呉 士存	中国南海研究院 院長
(五十音順)	朱 鋒	北京大学国際関係学院 教授
	中谷 和弘	東京大学大学院法学政治学研究科 教授
	羽生 次郎	公益財団法人笹川平和財団 会長

※メールでのご連絡の場合は、spfpr@spf.or.jp まで下記情報をお知らせください。

※□に印をお付けください

ご出席

ご欠席

御社名:

御所属:

御芳名:

御出席人数(計 名)

撮影の有無:  あり (スチール・ムービー)

なし

電話番号:

FAX番号:

備考・御要望

お問い合わせ先:



公益財団法人笹川平和財団 事業部 広報担当(中原)

電話/FAX: 03-6229-5462/ FAX -5473

メール: spfpr@spf.or.jp